2019年　11月　1日　　No.168　　発行責任者　田中　孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第168号
郵政産業ユニオン
PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031　東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

個人指標はないが

今月、年賀はがきの販売が始まった

11月1日から年賀郵便が販売されました。販売数は25・6億枚で昨年より4・1億枚少なくなっています。

実需に基づかない不適正営業は禁止

会社の資料には、「年賀状は日本が誇る文化であり、年賀葉書は日本郵便の経営上最も重要な商品の一つです」、「しかしながら、営業成績の維持のために実需に基づかない買い取りを行うことは、社員への不必要な負担をかけることとなるほか、会社としても経営判断を見誤り不利益を被るものです」、「実需に基づかない買い取りをはじめとする不適正な営業は、行ってはいけません」と書かれています。

そして、今年も昨年と同様個人指標はありません。確かに昨年は個人指標がありませんでした。しかし、本社や支社から指標が各局に下され、各局はそれを各部、各班に下しました。個人の指標はなくなったとはいえ各局、各班の指標があることから、昨年も金券ショップに持ち込まれていました。新宿や神田の金券ショップに11月の発売直後から一枚59円で売られていたのです。

こうした状況をみると、個人指標はなくなりましたが、局の指標が上位下達で下されていることから変わりませんでした。

上の体質が問題だ

職場では「局の指標があるので売れないと部長が支社に呼ばれて強く言われるという。それがそのまま下にくるから、上の体質を変えていかなければ変わらない」という声があがっています。

郵政の体質を変え、お客さんから信頼される郵政事業にしていくために声をあげていきましょう。

国会前で安倍内閣退陣を求める

10月30日、「軍事費を削って暮らしを守れ」の国民運動実行委員会による定例国会前行動が行われました。200人が参加して、「軍事費よりも被災者支援を」「大企業への支援より中小企業への支援を」「憲法と暮らしを守れ」等を訴えました。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか